



平成26年 3 月

米沢市文化財年報 No.26

米沢市教育委員会



▲ 館山城跡本城（曲輪Ⅰ）で発見された石垣

館山城跡は、平成22年度より国指定史跡と保存整備を目指して調査を開始しました。これまでも東館で庭園跡とみられる遺構の発見や大手口で枡形虎口跡が確認されるなど多くの成果がみられました。本年度の調査では山城の中心部である曲輪Ⅰ・曲輪Ⅱの調査を行い、曲輪Ⅰの枡形虎口とみられる箇所より石垣が見つかりました。館山城の調査を開始してから最大の発見であり、その年代などをめぐって大きな注目を集めています。

本事業の詳細については、埋蔵文化財事業及び文化財事業特集のページで紹介していますので、併せてご覧ください。

埋蔵文化財事業

本年度の埋蔵文化財に関する発掘届及び確認調査の依頼件数は、平成26年2月28日現在で36件、重要遺跡の保存目的調査2件と緊急発掘調査3件を含めると41件でした。これらの調査成果について紹介します。

【 館山城跡保存整備事業 】

国指定史跡とその後の保存整備を目指す館山城跡保存整備事業は、今年度で4年目を迎えました。今年度は本城跡（曲輪Ⅰ）から打込みハギ技法を用いた石垣が発見され、大きな話題となりました。石垣については諸説がありますが、これまでの調査では最大の発見となり、館山城跡の史跡指定に向けて大きな弾みとなりました。

なお、本事業は文化財特集ページで詳しく紹介しておりますので、併せてご覧ください。

【 戸塚山古墳群の調査（市内遺跡発掘調査等事業） 】

戸塚山古墳群の調査は5年目となりました。今年度も東北芸術工科大学と協同で調査を進め、上浅川A支群のM175号墳と小山支群のM201号墳を中心に行いました。調査の結果、M175号墳は羨道部や石室を中心とした古墳の構造が明らかとなり、M201号墳については来年度以降も調査を継続することとなりました。

来年度からは戸塚山古墳群全体の用地測量調査や本格的な範囲確認調査を開始し、国指定史跡へ向けて本格的に動き出します。

【 緊急発掘調査受託事業 】

本年度は3件の緊急調査を実施しました。以下、それぞれについて紹介します。

・ 成島遺跡

成島園の増築工事に伴い、発掘調査を実施しました。調査の結果、時代は縄文時代中期前葉で、遺物では多数の土器・石器・礫器・土偶等が出土しました。特徴的なのは、三脚石器と呼ばれる特異な形状の石器の出土です。今回の調査では、未成品がほとんどでしたが、祭祀等で用いられたとみられ、この遺跡の特色を表しています。

・ 延徳寺遺跡

塩井保育園造成新築に伴い、新たに発見された遺跡です。調査の結果、古墳時代から近世にかけての複合遺跡であることが確認され、中心となるのは中世の館跡でした。出土遺物には中国の龍泉窯系や景德鎮窯系の輸入陶磁器類が含まれており、これらの点からこの館跡は伊達氏の有力家臣の屋敷跡ではないかと推定されます。

・ 沖仲遺跡

砂利採集事業に伴い、新たに発見された遺跡です。調査の結果、9～10世紀前半の平安時代の集落跡であることが確認されました。遺物は土師器・須恵器・赤焼土器などが多数出土しています。

今年度は例年になく多くの現場での発掘調査となりました。各々の事業者をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆さまに御礼申し上げるとともに今後とも埋蔵文化財保護へのご理解とご協力をお願いいたします。

<埋蔵文化財事業>



▲館山城跡①（空中写真）



▲館山城跡②（出土遺物）



▲戸塚山古墳群①（芸工大調査）



▲戸塚山古墳群②（小山支群トレンチ）



▲成島遺跡（三脚石器）



▲沖仲遺跡（現地説明会）



▲延徳寺遺跡①（現地説明会）



▲延徳寺遺跡②（出土遺物）

一般文化財事業

一般文化財事業では、今年度も継続事業を中心に例年どおり多岐にわたる事業を実施しています。以下では、特に重点を置いた事業について紹介します。

【国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」（普門院庫裏）保存整備事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は、米沢藩9代藩主上杉治憲（鷹山公）が師の細井平洲先生をお迎えした地として、昭和10年に国の史跡に指定されています。

本年度は、普門院庫裏工事（4ヵ年計画）の2年目であり、庫裏の解体工事を中心に進め、昨年度に引き続き境内の発掘調査も行いました。境内や庫裏内部の発掘調査の結果、史跡範囲や庫裏の建て替えが4期に亘ることなどが確認されました。また、普門院が所蔵する古文書類をはじめとした歴史資料についても整理に着手しましたので、本史跡をめぐる新たな歴史の解明が期待されます。

【「龍師火帝の碑」保存修理】

龍師火帝の碑は、直江兼続が米沢の城下町の治水・利水事業に際して建立させたものと言われ、巨大な石に大きな文字で「龍師火帝」と刻まれています。

この碑は、経年や風雨による劣化等で亀裂や文字が見えにくくなるなどしていたため、保存修理工事を行いました。保存修理の結果、亀裂は塞がり、文字も明瞭に読めるようになり、強度も上がりました。これからも末永くこの碑を守っていくための措置を市の文化財指定を見据えつつ検討していきます。

【県指定天然記念物「西明寺のトラノオモミ」保護事業（「山形の宝」事業）】

「西明寺のトラノオモミ」は、上杉綱勝が夫人の病氣治癒を祈願して御手植えしたと伝わる珍しいモミの木で昭和31年に県の天然記念物に指定されました。

所有者である西明寺が主体となって山形県の「山形の宝」地域のシンボル育成保護事業に採択され、天然記念物を保護するため樹木周囲に保護柵を設置する工事を行いました。併せて地域住民を対象とした講演会とシンポジウムを開催し、文化財保護への意識を高める機会となりました。

【国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」避雷針設置】

米沢藩主上杉家墓所は、平成6～19年度の14ヵ年をかけて保存修理工事を実施し、史跡は良好な状態に保たれています。近年落雷が増加傾向にあり、被害も懸念されるため、所有者と市で史跡を保護する避雷針の設置を行いました。避雷針は樹木に設置するタイプで、景観にも配慮した目立たないもので、史跡「上杉家墓所」の保護にとっては非常に重要な事業となりました。

その他にも例年通り、市指定史跡「直江石堤」「戸塚山古墳群」の草刈・雑木除去や国指定史跡への管理補助事業、県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊り」への補助事業、天然記念物の保護・調査なども引き続き実施しています。また、万世地区の江戸期草木塔の説明板の新規設置を行い、市指定文化財すべての草木塔に説明板が設置されました。

今後とも、文化財保護へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜一般文化財事業＞



▲普門院庫裏屋根の骨組



▲普門院発掘調査（現地説明会）



▲「龍師火帝の碑」保存修理作業



▲「龍師火帝の碑」保存修理完了



▲西明寺のトラノオモミ保護柵設置



▲トラノオモミ講習会&シンポジウム



▲米沢藩主上杉家墓所



▲避雷針設置作業

《 第2回 文化財事業特集 》

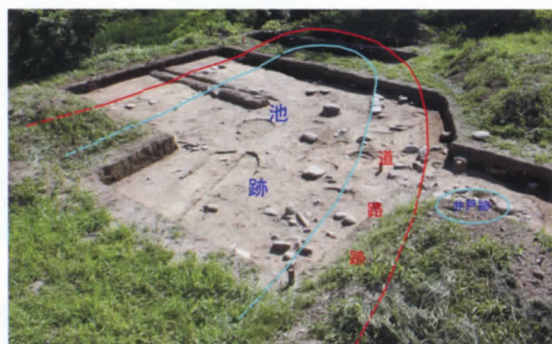
特集では、今年度石垣の発見で全国的に注目を集めた館山城跡保存整備事業について紹介します。

館山城跡とは？

館山城跡は大樽川と小樽川が合流する舌状丘陵と川を挟んだ平坦地に立地している山城で、山上は堀切・土塁等で区画された三箇所の曲輪で構成され、周囲には南館・北館・東館と仮称する平坦地があります。特に伊達氏との関わりが文献史料や発掘調査等から指摘され、注目を集めています。

館山城跡保存整備事業

館山城跡保存整備事業は平成22年度より開始され、文化庁・県と館山城跡保存整備検討委員会の指導を受けながら進めてきました。発掘調査と用地測量を中心に行い、国の史跡指定を目指しています。これまでの発掘調査の結果、多くの成果を上げており、全国から注目を集めるようになりました。



◀ 平成23年度確認の東館庭園跡

平成23年度は東館を中心に調査を行い、庭園跡地をはじめ、井戸・柱穴等が確認されました。遺物では短刀・陶磁器片・石製品が出土しています。

平成24年度確認の枡形虎口跡 ▶

平成24年度の調査では、館山城跡大手口から張床や排水溝を有する道路跡、石組遺構を伴う枡形虎口が確認されています。中世山城の大手口の構造が明らかとなった貴重な成果です。



◀ 平成25年度発見された石垣

平成25年度の調査では石垣が発見されました。石垣は崩され、裏込め石で覆われていたことから、破城の痕跡という見方もでき、注目されます。

特に平成25年度の調査では、曲輪Ⅰから石垣が発見され、大きな話題となりました。石垣は「打込ハギ」と呼ばれる構築技法で、伊達氏によるものか上杉氏によるものか議論が分かれるところですが、いずれにせよこれまでの調査で最大の発見となりました。

発掘調査現地説明会と現場一般公開

今年度は、平成25年10月27日に現地説明会を実施し、その後の1週間を一般公開期間として多くの方に来跡して頂きました。現地説明会ではあいにくの天気となりましたが、現地説明会と一般公開期間を合わせてのべ500人以上の方に来て頂き、館山城跡に対する関心の高さがうかがわれました。



▲ 発掘調査の様子



▲ 保存整備事業指導委員会



▲ 遺構（曲輪Ⅰ）



▲ トレンチ（堀切）



▲ 現地説明会の様子



▲ 一般公開の様子

今後の展望

館山城跡保存整備事業は、平成26年度にこれまでの調査成果をまとめた報告書を作成し、平成27年度中に国の史跡指定を受け、その後の保存整備へと進んでいく予定です。館山城跡は伊達氏の中心的な山城であり、その調査成果は全国的に注目されており、将来の米沢の大きな歴史資源としても期待されています。来年度も現地説明会等で発掘調査の成果を随時お知らせしたいと思いますので、今後とも皆様の御協力のほどよろしくお願いいたします。

平成25年度 米沢市文化財関係事業

区 分	平成25年度の重点事項	平成25年度の主な事業報告
1. 文化財共通	○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化財行政推進大会への参加 ○文化財の普及・教育	・「米沢市文化財年報」No.26の発行 ・平成25年度米沢市文化財保護審議会の開催（第2回H25.7.20 第2回 H26.3.14） ・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会への参加（青森県弘前市） ・埋蔵文化財資料室等の見学対応、米沢チャレンジウィークの受け入れ（米沢二中・南原中）
2. 埋蔵文化財	○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集及び周知 ○報告書の作成 ○施設の管理	・館山城跡範囲確認調査及び用地測量調査 ・中世城館跡調査（片倉山館跡等） ・市指定史跡「戸塚山古墳群」の詳細分布調査 ・緊急発掘調査（成島・延徳寺・沖仲遺跡） ・開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査 ・埋蔵文化財調査報告書第103～106集の刊行 ・米沢市埋蔵文化財収蔵室の解体工事
3. 一般文化財	○文化財の調査 ○文化財の保護 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の育成	・草木塔関連史跡調査（田沢地区） ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」保存修理事業の継続（6年目、普門院庫裏の2年目） ・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護 ・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」、「白鳥」の保護調査 ・文化財防火デー（上杉家墓所防火訓練ほか） ・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理 ・「龍師火帝の碑」保存修理 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡（普門院・羽黒神社）」及び同「米沢藩主上杉家墓所」の管理等に係る補助 ・県指定天然記念物「西明寺トラノオモミ」に係る補助（「山形の宝」事業） ・指定文化財説明板の設置・修繕（5件） ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」及び市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防（直江石堤）」の環境整備（草刈・雑木除去等の実施） ・県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助

発行 米沢市教育委員会

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号

教育管理部 文化課 文化財担当

TEL 0238-21-6111（内線7530、7531）

FAX 0238-21-6020

E-mail:bunka-ka@city.yonezawa.yamagata.jp